

1. 特徴

RS232CのドライバーIC ICL3232CVZとRS422/RS485のドライバーIC ADM2587Eを使用した絶縁型RS422/RS485-TTL (CMOS)レベル変換基板です。RS232C、TTL側とRS422/RS485側とは完全に絶縁されています。CN1(メス)とCN4(オス)を付属のD-Sub 9Pコネクタに半田付けして使用することができます。弊社姉妹品の「RS232-422」と互換性がありますが、Vカットで分割することはできません。また6PピンヘッダCN2、CN3の各ピンはパターンにより接続済みです。

2. 使用上の注意

- ①RS422(4線式)で使用する場合はJP8とJP9をオープンにしてください。
- ②RS485(2線式)で使用する場合はJP8とJP9をショートしてください。
また送信と受信の伝送路を兼用するため、送信のイネーブル/ディスエーブル制御が必要となります。
- ③送信のイネーブル/ディスエーブル制御を行う場合はJP6をショートし、CN3の④ピンから行います。(正論理)
- ④受信のディスエーブル/イネーブル制御を行う場合はJP5をショートし、CN3の④ピンから行います。(負論理)
(JP5、JP6をオープンにした場合は常時イネーブル状態となります。)
- ⑤必要に応じて終端抵抗R1(220Ω)を接続してください。(JP0をショートすると接続)
- ⑥JP7はCN3の④ピンと⑤ピンをショートするだけです。(RTS、CTSのループバック等にご利用ください。)
- ⑦電源はRS422/485側のD-Sub 9PコネクタCN4から供給します。⑨ピンにGND、⑥ピンには+3. 3~5Vを接続します。またCN2またはCN3から供給することもできます。(①ピンにGND、⑥ピンには+3. 3~5Vを接続します。)
(電源の誤接続は直ちにICの破壊につながりますのでご注意ください。)

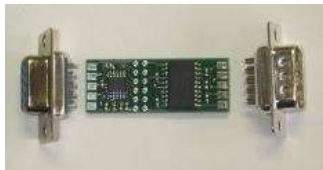


図1. キットの内容

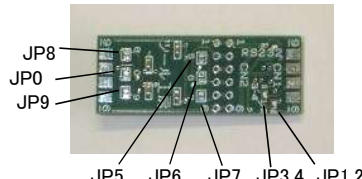


図2. ジャンパー設定

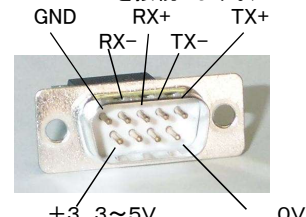
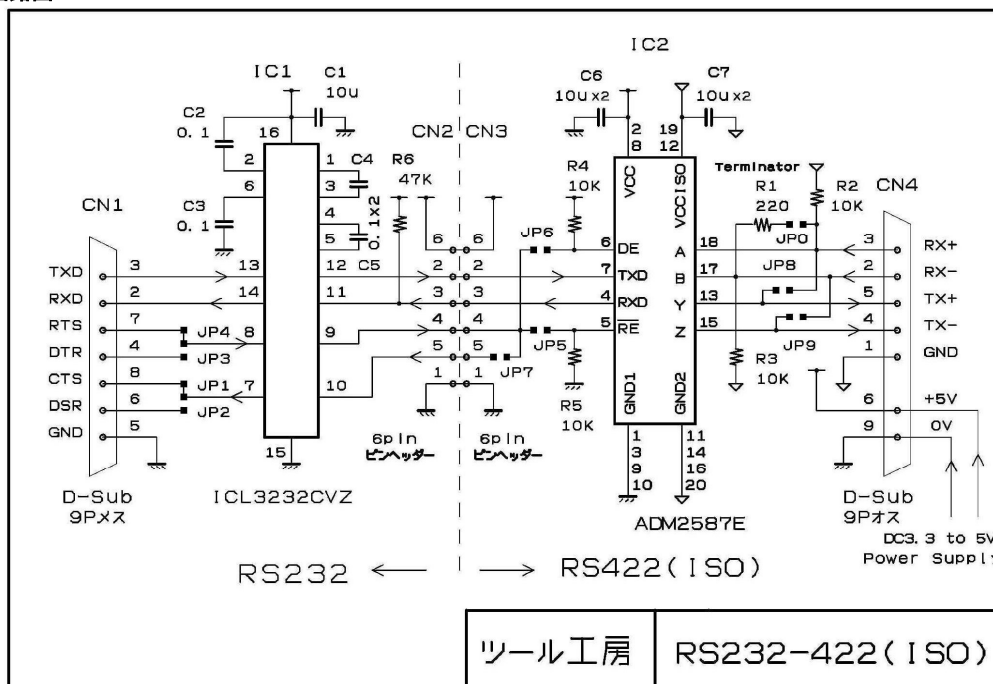


図3. 信号引き出し

- ⑧互換性と利便性を求めてCN4(D-sub9Pオス)からの電源供給を可能としたため絶縁距離が充分ではありません。絶縁距離を確保したい場合は別売りの「RS232」と「RS422(ISO)」を組み合わせ使用してください。
- ⑨RS232C部につきましては「RS232」の説明書をご覧ください。

3. 回路図



4. その他

- (1)本キットはインターフェースやICの使い方を学習・評価するために作られています。
ホビーや教材・実験以外の、高度な信頼性を必要とする装置や人命にかかわる装置に組み込むことはできません。
- (2)本キットを使用して生じた結果につきましては当社は責任を負いかねますので、ご了承願います。
- (3)キット組立て上、または使用上のミスによるトラブルにつきましては別途有償にて対応させていただきます。
- (4)また、本キットの内容は改良のため将来予告無しに変更することがあります。
- (5)なお、お気づきの点がありましたら、当社まで連絡をお願いいたします。

ツール工房株式会社

〒444-0055

愛知県岡崎市西魚町24番地3

TEL/FAX 0564-28-7531

Email office@tool-kobo.ddo.jp

http://tool-kobo.ddo.jp